

第2章 人口動態統計

人口

管内の人口は124,344人で、令和元年と比べ592人減少した。自然増減数は▲1,029人であり、過去20年減少が続いている。

出生

出生数は、667人で令和元年と比べ82人減少した。管内の出生率(人口千対)は5.4で全国(6.7)、県(6.1)と比較して低い。

低体重児出生数(2,500g未満)は71人、出生率(出生百対)は10.6で、全国(9.2)、県(8.6)と比較して高い。

死亡

死亡数は、1,696人で令和元年に比べ63名減少した。管内の死亡率(人口千対)は13.6となっており、全国(11.1)、県(11.5)と比較して高い。

死因別順位では、第1位が悪性新生物(人口10万対死亡率377.2)で第2位が老衰(201.9)、第3位が心疾患(189.0)となっている。

乳児死亡

乳児死亡率は1.5であった。全国(1.8)や県(1.8)と比較して高い。

死産

死産数は20人、死産率(出産千対)は29.1であった。全国(20.1)、県(16.8)と比較すると高い。

婚姻

婚姻件数は346組で婚姻率(人口千対)は2.8であった。婚姻率は、全国(4.3)、県(3.5)と比較すると低い。

離婚

離婚件数は174組で離婚率(人口千対)は1.40であった。離婚率は、全国(1.57)と比較すると低く、県(1.43)と比較すると同程度であった。